

KEY TOPIC

100年企業を目指す転換点への一歩が始まる 2026年度、始動!

4月1日、中広グループの2026年度入社式と表彰式、方針発表が名古屋市内で行われました。グループ幹部が迎える現地会場と、全国各地からWEB配信を通して全従業員がリアルタイムで視聴するなか、新入社員15名、旧西埼玉ばどから10名の社員を歓迎。また、年間アワード表彰式では多くの仲間が前年度の活躍を称えられる素晴らしい機会となりました。

プロとして立てる志が 困難を乗り越える原動力

「新入社員の皆さんに、ふたつお話しします」。期待と緊張に顔を上気させた新入社員を前に、大島齊社長の訓辞が始まります。

「ひとつは、社会人になるまで育ててくれた人々、礎を作ってくれた人々に心から感謝をしてほしい。もうひとつは、この仕事を選び、中広グループで働きたいと思った志を大切にしてほしい。なぜなら、困難を乗り越えるときに必要なのが志だからです。私たちは広告のプロであり、地域と日本を元気にするという理念を持って歩み続け、2027年度に50期を迎えます。このようなタイミングで皆さんを迎えられたことをうれしく思います」とエール。中広グループが大切にしている感謝の心、そして成長の礎としてきた不変の志の大切さを伝えます。

辞令交付後、新入社員代表の岩寄佑星さんが「単に情報を届けるのではなく、地域の思いを届ける仕事したい」と決意表明。これに対して前年度入社の内藤帆香さんは「焦らずに学び続け、何事にも挑戦してほしい。困ったらグループの仲間が必ず助けてくれる」と歓迎の言葉を贈りました。



50年の自分たちを超え 新たな進化に挑戦

年間アワード表彰式では、前年度に特筆すべき成果を出した個人やチームが晴れやかな顔で表彰を受けました。年間を通して月次予算を達成し続けたグランドスラムは4チームが受賞。なかでも、単月で過去最高売上を記録した「くれよん一宮・稲沢版」の一宮チームの平山竜也さんは、「自分たちの記録を超えるのは自分たち。この意気込みで今年度も最高売上記録の更新、そしてグランドスラムを狙います」と熱く決意を語ってくれました。

2026年度中広グループ方針発表では、大島社長が「自らを磨き、人に尽くし、社会に貢献する」という経営哲学を中心に据え、100年企業構想を始めると宣言。今年度スローガン「50X」、テーマ「AI Driven」も、来るべき50期を転換点として、過去の実績を守るのではなく、過去の自分たちを超え、100年企業への進化を図る「50Xプロジェクト」の一環であると語りました。

50期前夜であり、100年企業に向けた大切な一歩を踏み出す今年度。新たな仲間を加え、総勢747名となったグループ一丸で走ってまいります。

中広グループ各社の決意

株式会社中広メディアソリューションズ 釜 薫

今年度は「統・生産性の向上」をテーマに、AI主導の業務改革を推進します。新たにWEB広告標準搭載によるARIFTの価値向上と、ソリューション事業でのWEB広告領域の積み上げを図ります。売上高20億円突破に向けてギアを上げ、全従業員一丸となって能動的に取り組んでまいります。



株式会社ケイ・クリエイト 池戸 武志

今年度のテーマは「拡張性」です。これまで生産性と再現性を軸に積み上げてきた実績と経験にもう一步踏み込みます。+1件・+1エリア・+1円にこだわり、その小さな積み重ねで、大きな成長を生み出します。一人ひとりの挑戦を掛け合わせ、企業価値の持続的な拡張を実現していきます。共に次のステージへ進みましょう!



株式会社 関西ばど 稲生 真一

今年度のテーマは「BUILD UP」です。行動を積み上げ、再現性を積み上げ、その先に利益を積み上げていきます。昨年の代表交代から見えた課題に真正面から向き合い、一つひとつ着実に改善と前進を重ねます。今年度は通期黒字化が必達ミッション。当然その先も見据え、全員でやり切り、成長を加速させ、確実な結果へ結びつけます!



株式会社ケイビーエス 鵜飼 俊佑

今年度は「自立と共創 ~売上・利益・価値を創る~」をテーマに進んでまいります。コスト構造の見直し、自社直販の開拓により、自らコントロール可能な収益基盤を品質価値と共に確立します(自立)。また今まで築いてきた既存リソースを活用してグループ連携を深め、シナジーによる新たな価値と市場を開拓します(共創)。



株式会社まちトピア 後藤 大地

まちトピアは2期目に入ります。今年度は「2倍の成長」がテーマです。数字の面でも組織の面でも、提供するコンテンツに関しても飛躍的に成長しているよう日々、効率化、仕組み化を行い、目に見える成長を遂げてまいります。全国に我々のコンテンツを届け、「エンタテインメントで日本を元気に」を理念に今期邁進していきます。



株式会社中広ワークイン 若松 英洋

今年度のテーマは「胎動を飛躍へ」変化を成果に。グループ内で生まれた確かな変化を成果へと昇華する一年とします。Workin・TalentClipの成長を土台に、indeed、人材紹介、グローバル人材支援・自治体支援事業を伸ばし、当社ビジョンである地域の雇用インフラを体現してまいります。



COLUMN

祖先になる

—— 今を誠実に生きる ——

輝く若葉のその裏に 今を支える尊き働き

5月、春の柔らかな気配を残しながら、自然はすでに次の営みへと歩を進めています。故郷・岐阜にそびえる金華山は若葉に覆われ、市木であるツブラジイの黄金色の花で輝き満たされます。田畑には新しい命が息づき、風は軽やかで、空はどこまでも高い。5月の自然には、命を育む確かな力が満ちています。

では、私たちは何故、瑞々しい若葉に美しさを感じるのか。それは「新しいから」ではなく、「若葉を支える幹と、長年耐えてきた根があるから」です。今、目の前にある生命の奥には、名もなく朽ち、養分となってきた無数の時間があります。すでに去ったものの働きが、静かに今を支えています。

人もまた同じです。今を懸命に生きることは、自分のためだけでは終わりません。誰かに教えられ、支えられ、見えない多くの力に押されて今日を生きる私たちは、また次に続く誰かのために、何かを遺しながら生きています。言葉であれ、仕事であれ、背中を示す生き方であれ、自然が黙して次の実りを用意するように、人もまた、日々の中で、来るべき時代の土を耕しているのです。どれほど人を育て、思いを託し、次の世を豊かにできたか。そうした直ぐには見えない働きの中に、人間の真価が宿るのではないのでしょうか。

この思いは、仕事にも通じるものです。日々の積み重ねは、結果としてすぐに現れるものばかりではありません。しかし、一つひとつの行動や判断が、やがて誰かの支えになり、次の世代の土台となる。単に目の前の成果を追うのではなく、その先に続く流れをつくる営みが仕事の本質であるならば、フリーメディアを発行する私たちの仕事の真価とは一体何でしょうか。

仏壇に供えられた1冊 生きた証を誌面に刻む

未曾有の災禍に見舞われた東日本大震災から15年になります。震災後、1年半にわたってある男性を追った記録映画「先祖になる」は、過去を背負い、現在を生き、未来へとつなぐ人間の本质を克明に映し出しています。震災による津波で家を、家族を失った男性が、瓦礫の中から材木を拾い集め、1本1本柱を立てていく。誰に誇るでもなく、ただ黙々と木を刻み、家を建て直すその姿は、人は何故

生きているのかという問いに対する1つの答えを示しています。祖先とは、特別な偉人のことではありません。家を建て、家族を守り、地域で生きる。誠実に今日を生き抜いた普通の人の営みが、未来の社会を形づくるのです。

私たちがまた、日々の仕事の中で、同じ営みをしているのではないか。地域で人が生きるための情報を1冊に込め、各家庭のポストへと丁寧に届ける。先日、縁あって訪ねた飛騨の旧家の仏壇に、この3月で30周年を迎えた地域みっちゃく生活情報誌®「SARUBOBO」が供えられていました。誌面には満面の笑みを浮かべる老夫婦・孫の写真が掲載されていました。

時が流れ、子どもや孫たちがこの1冊を手にする日が来るかもしれません。「これはお母さんが作ったんだよ」「ほら、おばあちゃんの名前がある」。編集後記に刻まれた名前、巻頭特集に込めた覚悟、1ページ1ページに刻んだ知恵と情熱は、その瞬間その地を生きた人間の証となります。



岐阜城・ツブラジイの花

だからこそ問い続けなければなりません。今、どんな誌面を世に送り出しているのか。誰に、何を、どんな想いで届けているのか。この1冊が未来に残ると想像したら、軽々しい仕事は決してできないでしょう。私たちの仕事は広告であり、情報発信です。しかし、その本質はもっと深いことを自覚せねばなりません。地域の記憶を編み、時代を刻み、人の生き様を残す営みをしている私たちもまた、祖先になる存在だということに。

5,000万世帯の灯火に 歴史を創る誇りを持つ

中広グループは来年50期を迎えます。目標は明確です。日本全国5,000万世帯へ、HAPPY MEDIA®「地域みっちゃく生活情報誌®」を届けること。5,000万という数字は単なる発行部数の拡大を示すものではありません。少子高齢化で疲弊する地域に灯をともす挑戦であり、人と人を結び、暮らしに潤いを与える営みであることの証です。

インフレの波が静かに、しかし着実に日常を圧迫するいま、企業はコスト上昇に直面し、広告費を抑制する動きが加速しています。しかしその一方で、地域に根ざし、確実に届く情報の価値は、むしろ高まっています。不確かな時代であるだけに、人は「確かな情報」「信頼できる媒体」を求めます。それゆえ、私たちの仕事の意味はより重く、より深くなっています。

1冊の情報誌を通じて、読者の背中を押す。1つの広告で、店を救い、雇用を生み、地域の灯を消さぬ力となる。その重みを積み重ねた先に、元気な日本の姿がある。だからこそ、志は高くあらねばなりません。自分と自分の周りの人々を幸せにする。それが中広グループの経営哲学の根幹です。これを実践するために、3つの指針を伝えます。

まず、「自己を高めること」。人は仕事を通じて磨かれます。誠実であること。誠実にやり抜くこと。その不断の精進が、一人ひとりの力を高め、組織の礎になります。

次に、「他に尽くすこと」です。クライアント、縁ある人々、地域社会、それら全ての関わりにおいて、相手の期待を超える価値を提供する。利他の精神の実践が、信頼を生み、持続的な成長をもたらします。

そして、「社会に価値を創造すること」。私たちの事業は、情報と広告の力で人を動かし、地域を元気にすること、それが志です。故に、事業そのものが社会貢献でなければなりません。児童虐待防止運動をはじめ、地域課題と正面から向き合うのもそのためです。

未来の誰かが、こう語る日が来ます。「この1冊があったから、今日の自分がある」と。そこに名を刻む者が、真の仕事人であり、時代に責任を果たした者です。高い志を抱き、「地域みっちゃく生活情報誌®」を届けるその一歩一歩が、人を動かし、地域に命を吹き込み、日本を元気にします。

そして、それこそが時代を超えて価値を遺し、人の心に生き続ける。歴史に、「祖先になる」ということです。ならば、ともに胸を張れる仕事をしよう。誇れる一行を残そう。祖先となるに相応しい仕事を。それが、私たちが今を生きる理由なのだから。

2026・春号・ツブラジイが金華山を黄金に染める・如水こと二代目・後藤敬次

12,014,262部

※情報は2026年4月発行号に基づき掲載しています ※VC発行エリアを含む ※世帯到達率は配布部数を2025年9月1日現在の各県が公表している世帯数で割り算 ※一部イレギュラーな発行に伴い5月に流通していないものを含む ※発行日は月により変動する可能性があります。詳細はお問い合わせください ※上記部数には設置・季刊誌媒体を含みません

北海道		
道内発行媒体数	道内総発行部数	
6誌	928,540部	

SORA vol.134	滝川市・砂川市・赤平市・歌志内市・新十津川町・奈井江町	41,500部 20日発行
--------------	-----------------------------	------------------

ふりっぼー		
-------	--	--

豊平区・清田区南区版 vol.242	札幌市豊平区・清田区・南区・中央区(東部)・北広島市大曲	229,675部 第4火曜日発行
--------------------	------------------------------	---------------------

北区・東区版 vol.213	札幌市北区・東区	236,370部 第4火曜日発行
----------------	----------	---------------------

白石区・厚別区版 vol.239	札幌市白石区・厚別区中央区(前成川より東)・江別市大森地区	173,615部 第4火曜日発行
------------------	-------------------------------	---------------------

西区・手稲区版 vol.249	札幌市西区・手稲区中央区(西部)小樽市(一部)	186,380部 第4火曜日発行
-----------------	-------------------------	---------------------

AO vol.23	千歳市・恵庭市	61,000部 第4木曜日発行
-----------	---------	--------------------

岩手県		
県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
1誌	120,000部	

ゆうゆう vol.582-583	盛岡市・滝沢市(一部)・矢巾町(一部)・紫波町(一部)	120,000部 最終火曜日より2週間前の木曜発行
------------------	-----------------------------	------------------------------

秋田県		
県内発行媒体数	県内総発行部数	
1誌	137,000部	

QKuRaSu vol.202	秋田市	137,000部 1日発行
-----------------	-----	------------------

宮城県		
県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
5誌	607,770部	50%以上

ぽんちん! vol.146	石巻市・東松島市	59,000部 20日発行
---------------	----------	------------------

さきぱ! vol.110	大崎市	40,000部 20日発行
--------------	-----	------------------

とみぞ! vol.133	仙台市泉区富谷市	84,600部 20日発行
--------------	----------	------------------

ほろい! vol.127	名取市・岩沼市 亶理町・柴田町 大河原町	53,830部 20日発行
--------------	----------------------------	------------------

ARIFT vol.1861	仙台市泉区・青葉区・若林区・太白区・宮城野区・富谷市・名取市・岩沼市・塩釜市・多賀城市・大和町・七ヶ浜町・利府町	370,340部 第4または第5金曜日発行
----------------	--	--------------------------

山形県		
県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
2誌	216,550部	50%以上

はつまる vol.122	【東なおきたま版】米沢市・南陽市・高島町・川西町 【西なおきたま版】長井市・白鷹町・飯豊町・小国町	60,000部 22,000部
--------------	--	--------------------

ARIFT vol.1861	【東なおきたま版】米沢市・南陽市・高島町・川西町 【西なおきたま版】長井市・白鷹町・飯豊町・小国町	82,000部 20日発行
----------------	--	------------------

ARIFT vol.1861	【東なおきたま版】米沢市・南陽市・高島町・川西町 【西なおきたま版】長井市・白鷹町・飯豊町・小国町	134,550部 第4または第5金曜日発行
----------------	--	--------------------------

福島県		
県内発行媒体数	県内総発行部数	
2誌	86,500部	

すかおと vol.121	須賀川市・楳石町・天栄村 玉川村・石川町・清川町 矢野町・古河町・平田村	53,500部 25日発行
--------------	--	------------------

こみおと vol.43	白河市・西郷村 泉崎村・中島村	33,000部 25日発行
-------------	--------------------	------------------

茨城県		
県内発行媒体数	県内総発行部数	
5誌	250,255部	

ひたち vol.198	日立市	62,000部 25日発行
-------------	-----	------------------

にしも vol.155	筑西市・下妻市 結城市	44,000部 25日発行
-------------	----------------	------------------

こがも vol.131	古河市・埴科町 栃木県野木町	52,000部 25日発行
-------------	-------------------	------------------

かす vol.150	鹿嶋市・神栖市 潮来市	50,000部 25日発行
------------	----------------	------------------

ちいき新聞 vol.467-470	守谷市・つくばみらい市・取手市	42,255部 毎週金曜日発行
-------------------	-----------------	--------------------

栃木県		
県内発行媒体数	県内総発行部数	
1誌	52,000部	

おりっぶ vol.119	小山市	52,000部 25日発行
--------------	-----	------------------

群馬県		
県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
5誌	343,000部	

太田FM vol.110	太田市	50,000部 25日発行
--------------	-----	------------------

桐生みどりFM vol.102	桐生市・みどり市	50,000部 25日発行
-----------------	----------	------------------

伊勢崎FM vol.147	伊勢崎市	63,000部 25日発行
---------------	------	------------------

前橋FM vol.147	前橋市	60,000部 25日発行
--------------	-----	------------------

高崎FM vol.342	高崎市	120,000部 25日発行
--------------	-----	-------------------

埼玉県		
県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
8誌	1,035,195部	

クッキーズ vol.134	久喜市	52,000部 第4火曜日発行
---------------	-----	--------------------

とねし vol.134	羽生市・加須市 行田市	56,400部 第4火曜日発行
-------------	----------------	--------------------

MAZARINE vol.125	熊谷市	62,000部 1日発行
------------------	-----	-----------------

Seven vol.68	深谷市	44,000部 20日発行
--------------	-----	------------------

ほろ vol.668	所沢市・入間市・狭山市・飯能市・川越市・ふじみ野市 三芳町・富士見市・白雲市	175,045部 第2または第3金曜日発行
------------	---	--------------------------

ARIFT		
埼玉県版 vol.1859	新座市・志木市・朝霞市・和光市・戸田市・川口市・蕨市・さいたま市浦和区・南区・緑区 岩槻区・板区・中央区	299,160部 第2または第3金曜日発行

埼玉県中央版 vol.1858	さいたま市西区・岩槻区 大宮区・見沼区・北区 上尾市・蓮田市・桶川市	159,500部 第1または第2金曜日発行
-----------------	--	--------------------------

埼玉県東版 vol.1858	越谷市・春日部市 草加市・吉川市 三郷市・八潮市	187,090部 第1または第2金曜日発行
----------------	--------------------------------	--------------------------

東京都		
都内発行媒体数	都内総発行部数	
1誌	99,820部	

ARIFT vol.1858	足立区	99,820部 第1または第2金曜日発行
----------------	-----	-------------------------

千葉県		
県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
39誌	1,698,370部	50%以上

ちいき新聞		
佐倉西版 vol.2306-2309	佐倉市	43,575部 毎週金曜日発行

東葉版 vol.2306-2309	八千代市	62,450部 毎週金曜日発行
-------------------	------	--------------------

八千代台版 vol.2306-2309	千葉市花見川区 八千代市・習志野市	43,220部 毎週金曜日発行
---------------------	----------------------	--------------------

習志野版 vol.2306-2309	習志野市・船橋市 千葉市花見川区	40,220部 毎週金曜日発行
--------------------	---------------------	--------------------

船橋東版 vol.2306-2309	船橋市	46,245部 毎週金曜日発行
--------------------	-----	--------------------

津田版 vol.2306-2309	船橋市	40,190部 毎週金曜日発行
-------------------	-----	--------------------

習志野西版 vol.2306-2309	習志野市	38,490部 毎週金曜日発行
---------------------	------	--------------------

専務版 vol.2306-2309	千葉市花見川区 美浜区	37,400部 毎週金曜日発行
-------------------	----------------	--------------------

千葉NT版 vol.1421-1424	印西市・白井市	47,390部 毎週金曜日発行
---------------------	---------	--------------------

成田版 vol.1421-1424	成田市・栄町 富里市	41,940部 毎週金曜日発行
-------------------	---------------	--------------------

佐倉東・酒々井版 vol.1421-1424	佐倉市・酒々井町	23,105部 毎週金曜日発行
------------------------	----------	--------------------

富里・八街版 vol.1421-1424	八街市・富里市 成田市	19,675部 毎週金曜日発行
----------------------	----------------	--------------------

船橋北版 vol.1303-1306	船橋市	32,600部 毎週金曜日発行
--------------------	-----	--------------------

鎌ヶ谷版 vol.1303-1306	鎌ヶ谷市・白井市	40,050部 毎週金曜日発行
--------------------	----------	--------------------

船橋南版 vol.1187-1190	船橋市	46,655部 毎週金曜日発行
--------------------	-----	--------------------

船橋中央版 vol.1187-1190	船橋市・市川市	47,320部 毎週金曜日発行
---------------------	---------	--------------------

八幡版 vol.1187-1190	市川市・松戸市	53,740部 毎週金曜日発行
-------------------	---------	--------------------

市川版 vol.1179-1182	市川市	40,650部 毎週金曜日発行
-------------------	-----	--------------------

船橋西版 vol.1187-1190	市川市・船橋市	56,045部 毎週金曜日発行
--------------------	---------	--------------------

美浜版 vol.1292-1295	千葉市美浜区	45,982部 毎週金曜日発行
-------------------	--------	--------------------

千葉北版 vol.1292-1295	千葉市花見川区 稲毛区	29,545部 毎週金曜日発行
--------------------	----------------	--------------------

若葉版 vol.1292-1295	千葉市若葉区 四街道市	43,720部 毎週金曜日発行
-------------------	----------------	--------------------

四街道版 vol.1292-1295	千葉市稲毛区 若葉区・四街道市	36,024部 毎週金曜日発行
--------------------	--------------------	--------------------

千葉中央版 vol.1292-1295	千葉中央区・稲毛区 若葉区	47,143部 毎週金曜日発行
---------------------	------------------	--------------------

稲毛版 vol.1292-1295	千葉市稲毛区	42,165部 毎週金曜日発行
-------------------	--------	--------------------

蘇我版 vol.1292-1295	千葉市中央区	33,081部 毎週金曜日発行
-------------------	--------	--------------------

千葉南版 vol.1292-1295	千葉市中央区・緑区 市原市	56,342部 毎週金曜日発行
--------------------	------------------	--------------------

市原版 vol.1194-1197	市原市	58,278部 毎週金曜日発行
-------------------	-----	--------------------

木更津・袖ヶ浦版 vol.1194-1197	袖ヶ浦市・木更津市	37,135部 毎週金曜日発行
------------------------	-----------	--------------------

松戸駅周辺版 vol.1179-1182	松戸市	62,480部 毎週金曜日発行
----------------------	-----	--------------------

八柱・五香版 vol.1173-1176	松戸市・柏市 鎌ヶ谷市	65,330部 毎週金曜日発行
----------------------	----------------	--------------------

新松戸・北小金版 vol.1173-1176	松戸市	63,640部 毎週金曜日発行
------------------------	-----	--------------------

神奈川県		
県内発行媒体数	県内総発行部数	
3誌	580,420部	

ARIFT		
横浜中央版 vol.1860	横浜市磯子区・港北区・神奈川区・中区・西区・南区・港南区・旭区・保土ヶ谷区・鶴見区	307,150部 第3または第4金曜日発行

田園都市版 vol.1860	横浜市宮前区・青葉区・緑区・都筑区	138,470部 第3または第4金曜日発行
----------------	-------------------	--------------------------

川崎東・大田区版 vol.1860	川崎市中原区・川崎区・緑区・大田区・品川区	134,800部 第3または第4金曜日発行
-------------------	-----------------------	--------------------------

新潟県		
県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
5誌	343,000部	

まると下越! vol.97	新潟市・村上(一部) 新潟市北区(豊栄) 胎内市・聖籠町	54,000部 30日発行
---------------	------------------------------------	------------------

まると豊央! vol.145	三条市・燕市 加茂市・弥彦村	64,000部 25日発行
----------------	-------------------	------------------

まると上越! vol.127	上越市・妙高市	63,000部 20日発行
----------------	---------	------------------

まると新潟! vol.8	新潟市中央区・西区	60,000部 28日発行
--------------	-----------	------------------

まると生活情報 vol.505-506	長岡市・見附市・小千谷市	102,000部 第2-4土曜日発行
---------------------	--------------	-----------------------

富山県		
県内発行媒体数	県内総発行部数	
1誌	33,500部	

niikawa vol.7	魚津市・黒部市・滑川市	33,500部 月未発行
---------------	-------------	-----------------

福井県		
県内発行媒体数	県内総発行部数	
1誌	33,928部	

kirameki club vol.215	敦賀市・美浜町	33,928部 25日発行
-----------------------	---------	------------------

山梨県		
県内発行媒体数	県内総発行部数	
3誌	154,000部	

ピレレ vol.165	笛吹市・山梨市 甲州市	38,000部 25日発行
-------------	----------------	------------------

Parupi vol.264	甲府市・甲斐市 中央市・昭和町	82,000部 第4火曜日発行
----------------	--------------------	--------------------

なないろ vol.153	韮崎市・北杜市	34,000部 20日発行
--------------	---------	------------------

長野県		
県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
1誌	81,000部	

月刊ぶらぶら vol.413	諏訪市・茅野市 岡谷市・下諏訪町 原村・富士見町	81,000部 25日発行
----------------	--------------------------------	------------------

岐阜県		
県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
12誌	741,589部	87.9%

SARUBOBO vol.362	高山市・飛騨市 下呂市・白川村	54,500部 28日発行
------------------	--------------------	------------------

GUJO vol.209	郡上市	20,000部 20日発行
--------------	-----	------------------

maika vol.236	中津川市・恵那市	44,600部 25日発行
---------------	----------	------------------

らせる vol.210	土岐市・瑞浪市	36,610部 25日発行
-------------	---------	------------------

おりべ vol.264	多治見市	44,970部 25日発行
-------------	------	------------------

かにさんくび vol.371	【かに版】 可児市・御嵩町 【かも版】 【かも版】 坂祝町・川辺町・七宗町 白川町・富加町・東白川村	44,480部 31,140部
----------------	---	--------------------

ぎららくらぶ vol.234	関市・美濃市	42,777部 20日発行
----------------	--------	------------------

たんたん vol.261	各務原市	59,800部 20日発行
--------------	------	------------------

GIFUTO vol.204	【北部版】 岐阜市北部 山県市 【南部版】 岐阜市南部 岐阜町・安松町	76,267部 119,995部
----------------	--	---------------------

mintap vol.230	本美市・瑞穂市 北方町・大野町	47,000部 20日発行
----------------	--------------------	------------------

はしまる vol.110	羽島市	24,990部 25日発行
--------------	-----	------------------

Wao!Club vol.277	【南東版】 大垣市南東区・中區・南区・港南区・輪之内町・安八町 【北西版】 大垣市北西區・瑞穂川町・池田町・神戸町・関ヶ原町・善井町	46,652部 47,808部
------------------	---	--------------------

静岡県	県内発行媒体数	県内総発行部数	県内世帯到達率
	8誌	496,880部	

mydo	三島市・清水町 長泉町・裾
------	------------------

リニューアル周知とターゲット拡大の成功事例

地域みっちゃん生活情報誌

「野菜だけじゃない」魅力を多角的に発信

『つうび〜す』3月号では、JAファーマーズ津のリニューアルオープンに合わせ、子育て世代を中心とした新規客層の開拓を目的に、巻頭特集を企画・提案いたしました。

店舗の強みである新鮮野菜のイメージは生かしつつ、意外と知られていなかった鮮魚や惣菜の充実度を視覚的に強調。さらに、家族連れで楽しめるイベント情報を誌面で大々的に紹介し、買い物+αの楽しさがある場所としてブランディングしました。

読者からは「魚の品揃えを初めて知った」「ぜひ行ってみたい」と多くの反響を呼び、認知の幅を広げることに成功。クライアントからも「若い世代の来店が増え、売上向上につながった」と、確かな成果への喜びの声をいただいています。今回の事例は、クライアントの潜在的な魅力を掘り起こし、地域ニーズと合致させたことで、弊社の媒体力が具体的な集客・増収に直結した好事例となりました。

(つうび〜す編集室・溝上)



情報誌が拓く、地域と部活動の未来

地域みっちゃん生活情報誌

コミュニティをつなぐプラットフォームへ

少子化や教員の働き方改革を背景とした「部活動の地域移行」という大きな転換点を受け、『SARUBOBO』3月号では表紙・巻頭特集・連動企画を立案。行政の施策を住民目線で翻訳し、中学生の子を持つ保護者と地域のクラブをつなぐことを目指しました。

誌面では、高山市教育委員会への取材に基づいたQ&Aで読者の不安を解消。生徒たちの躍動感あふれる姿や真剣な眼差しを載せ、新しい活動形態への期待感をポジティブに演出しました。巻頭特集と連動したクラブ一覧も掲載し、実用的な情報源としての利便性も追求しています。

本企画を通じて、自治体や読者の皆さんから「制度への理解が深まった」と、温かい声をいただきました。地域全体で子どもたちを支える仕組みづくりに微力ながら貢献できたことは、地域情報誌としての役割を再認識する機会となり、今後の活動に向けた大きな励みとなりました。

(SARUBOBO編集室・池田)



表紙・巻頭・企画までテーマに沿った一貫編成

地域みっちゃん生活情報誌

女性を軸とした誌面設計で、共感と行動を創出

『イセラクラブ』3月号では、3月8日の国際女性デーに合わせ、表紙に女性のイラストを採用。「今日は女性が主役」や「女子だってガッツリ食べたい」など、女性向けの企画を充実させ、「女性」をテーマに据えた、一貫性のある構成としました。

中でも巻頭特集「この街で輝く女性たち」では、地域社会を牽引する女性たちの多様な生き方に着目。デザイン面では、女性らしい柔らかさを生かした誌面を追求し、内容は読者が自身の価値観を重ねられるよう、ストーリー性を重視して人物にフォーカスしました。座右の銘やオフの過ごし方といったパーソナル情報を加えて親近感を醸成し、「この人に会いに行きたい」という行動喚起につなげました。

発行後は、「勇気をもらった」「刺激になった」といった読者の声が寄せられたほか、クライアントからもブランド認知と集客の両面で高い評価をいただきました。

(イセラクラブ編集室・脇坂)



採用業務を一括受託し成果を創出

採用支援

データ活用型RPOによる採用支援事例

昨年、千葉県の手バス会社において年間数千万円規模の大型採用支援を受託しました。本案件では、求人媒体の選定や予算アロケーション設計に加え、応募受付代行を含む採用プロセス全体のアウトソーシング(RPO)を実施。応募者の属性や応募経路、属性別の採用確率などをデータとして可視化し、月次レポートニングおよび定例ミーティングを通じて、継続的な改善に取り組みました。

その結果、採用効率や歩留まりの改善につながり、年間100名のバスドライバー採用を支援することができました。

本取り組みを評価いただき、他グループ会社への横展開を前提とした提案型コンペにおいても採択。プロジェクトとしては2社目となる大型採用支援の受託につながり、2026年度の取引規模拡大が見込まれています。応募受付を起点としたデータ活用と改善提案が、安定した成果創出と継続的なパートナーシップ構築に寄与しました。

(CWI 都市圏営業課・阿部)



HAPPY MEDIA

『ままこっこ』

園児から家庭に直接届く子育て情報満載のフリーマガジン

【配布先】 県内全域の幼稚園・保育園・こども園
 【設置先】 産婦人科・小児科・児童館・図書館・ショッピングモール等
 【仕様】 冊子A5版 オールカラー

『Start!』

進路選びを応援する高校生のための就職応援メディア

【配布先】 高校
 【仕様】 冊子A4 オールカラー
 【発行エリア】 山形県、群馬県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、鳥取県、福岡県



『Workin』

アルバイト・パート・中途・新卒・派遣等、あらゆる雇用形態に対応した総合求人メディア

【設置先】 県内広域のスーパー・ショッピングモール・コンビニ・駅・大学など
 【仕様】 冊子AB版 オールカラー
 【発行時期】 隔週(月・火)※山形月一

『講演会インフォ』

ゲスト講師、タレント選びからイベント企画立案、当日の運営までサポートするネットワークサービス
 【登録講師数】 7,000名
 【年間実施件数】 400件以上



クーポンアプリ「フリモ」
 50%オフダウンロード突破!

フリーマガジンに掲載しているクーポンがスマホの中に! 切り取らなくてもスマホで簡単に使える!
 ※ダウンロード数 552,611件 (2026年4月21日現在)



CHUCO CLUB

49期中広グループ新入社員研修

桜咲く3月下旬から4月にかけて、新入社員研修を実施しました。初日は緊張していた新入社員も、ビジネスマナーなどを学び、最終日には笑顔で目標を発表するまでに成長。講義・演習を通じ、企業理念を再認識し、社会人としての第一歩を踏み出しました。今春、中広グループには15名の新入社員が加わりました。地域のプロ・広告のプロとしてまいりますので、温かいご指導をお願いいたします。

(人財開発課・伊藤)



出向社員の紹介

中広グループではナレッジの共有や、幹部の成長・育成を目的とした、グループ会社間出向を行っており、今年度も新たに2名が新天地にてノウハウを発揮します。



株式会社関西ほど取締役として出向することとなりました。これまで培った強みを生かし、グループシナジーの最大化に挑戦します。関西方面でのプロモーションの際はぜひお声掛けください。

(関西ほど・浅田)



人生初の異動が生まれ故郷の前橋フリモ! 人生を賭けた大挑戦にワクワクしています。CMSで鍛えた新規開拓力で前橋を盛り上げ、グランドスラムをチームで達成します!

(前橋フリモ編集室・小林)

柴橋岐阜市長×大島社長 特別対談

去る2月19日、再任された柴橋正直岐阜市長と、当社の大島社長が対談を行いました。市長が「岐阜を動かす集大成」と掲げる3期目への決意や、子育て施策の展望など、目指すべき岐阜市の未来像について語り合いました。対談の内容は『GiFUTO』4月号に掲載。地域活性化に尽力する当社として、これからも『GiFUTO』を通じ、岐阜を動かすまちづくりを支援してまいります。

(クオリティマネジメント課・高崎)



VCTOPIC

佐賀県『月刊ぶらざ佐賀』株式会社ぶらざ

高校生と地元企業をつなぐ、新たな企画へ挑戦

『月刊ぶらざ佐賀』では、高校生の就職活動を応援すべく、まずは生徒本人と保護者が誌面を開く習慣を作ろうと、昨年11月号より部活動応援企画をスタート。求人が本格化する前の4月号で、地元企業の魅力を紹介する特別企画を実施しました。

地元採用に悩む企業に寄り添った本企画は、佐賀県の協力もいただき、内容に厚みを持たせることで7社が掲載。5月号も5社継続掲載につながるなど、高い関心が寄せられています。

読者からは「佐賀に素晴らしい企業があると知るきっかけになった」「娘と将来を考える良い機会になった」と、親子世代から多くの反響をいただきました。今後も、名前しか知らなかった地元企業を身近に感じられる場を提供し、若者の県内定着と地域の未来に貢献します。



▲『月刊ぶらざ佐賀』4月号「将来を考える君へ」企画

部署だより NO.148

FM事業部

『きららくらぶ』編集室



▲『きららくらぶ』編集室のスタッフ

岐阜県関市・美濃市で発行している地域みっちゃん生活情報誌『きららくらぶ』。刃物の町として800年以上の歴史を誇り、世界にもその名が知られる関市と、1300年の歴史を持つ美濃和紙の産地として知られ、伝統的な町並みをはじめ歴史と文化が息づく美濃市。私たちは、それぞれの地域の魅力を丁寧に取材し発信しています。

グルメやイベント、暮らしに役立つ情報はもちろん、地元で活躍する人や店舗にもスポットを当て、地域の今をリアルにお届け。7名のスタッフが一つひとつ心を込めて制作し、読者と地域をつなぐ架け橋としての役割を担っています。より良い誌面を生むための環境づくりにも注力し、男性編集室長が育休を取得するなど、働きやすい体制を整えています。

誌面を通じて人と人、人と地域がつながるきっかけを生み出し、これからも地域の魅力をより多くの方に届けられるよう、スタッフ一同全力で頑張っております。

(きららくらぶ編集室・中田)

編集後記

2027年度、株式会社中広は50期を迎えます。50期という大きな節目に向け、弾みをつける大切な期間の始まりです。日本で50年続く企業は10%に満たないと言われる中、私たちが今まで歩いてこれたのは、会社の礎を築いてくださった先輩方の尽力、そして何より中広をご愛顧くださるお取引先の皆様、毎月発行を心待ちにしてくださる読者の皆様との温かなつながりがあったからこそです。

弊社が社訓として大切にしている「飲水不忘掘井人」という言葉。これは、水を飲むときは、井戸を掘った人への恩を忘れてはならないという意味です。これからもこの初心を胸に、地域の皆様への感謝を忘れず、時代に合わせた新たな価値を創造し続けてまいります。次の半世紀へ向け、一歩ずつ力強く歩む中広グループにどうぞご期待ください。

(広報・マーケティング 岡本)



個の力が響き合う、全員主役の祭典 CHUCO GROUP AWARDS 2025

「CHUCO GROUP AWARDS 2025」は、私たちのアイデンティティである「全員営業」を具現化し、グループ全従業員が主役となる、年に一度の祭典です。すべては「広告で地域社会へ貢献する」という目的のため、今年も多くのヒーローが誕生しました。

本アワードでは多角的な視点から功績を称える多彩な部門が設けられています。その象徴ともいえるのが、アタッカーへ有力な情報を繋ぎ、受注への道筋を作った「セッター部門」です。また、クリエイティブの反響をQRコードの読み取り数で競う「ハイブリッド部門」や、教育本商材への協賛を通じて地域のキャリア教育に貢献した「お仕事Start!部門」など、提供価値の質を問う賞が揃います。さらに、企業の信頼を集めた広告提案の華「オール商材部門」に加え、今期からは求人領域を牽引する「ATS部門」

が新設。情報誌の「FM達成率部門・受注額部門」では、伝統ある媒体を支える底力が示されました。壇上のヒーローたちからは、「支えてくれた仲間への感謝」や「地域を盛り上げたいという強い使命感」が語られ、会場は大きな感動と拍手に包まれました。役割は違えど、見据える先は同じ。このアワードで再確認した結束力を武器に、私たちはこれからも地域社会のパートナーとして走り続けます。



ハイブリッド部門 1位 河嶋珠希 / 中広 ぼてじゃこ倶楽部編集室 株式会社東海道シグマ

国の臨時交付金を活用し、長浜市のデジタルクーポンの事業に関してご掲載頂き3,000回を超える反応を頂きました。事業自体も良い結果となり、今年度の取り組みにもつながりました。



Table with 3 columns: Rank, Name, Department/Company. Includes 2nd, 3rd, 4th, and 5th place winners.

セッター部門 1位 田中里枝 / 中広 つっぴ〜す編集室

聴覚に障がいがありますが、自分に出来ることは何かを考え走ってきました。迷いながらもここまで走ってこれたのは、編集室のみなさんが支えてくれたおかげです。

Table with 3 columns: Rank, Name, Department/Company. Includes 2nd, 3rd, 4th, and 5th place winners.

ATS部門 1位 阿部真梨亜 / 中広ワークイン 都市圏営業課

新しい取り組みも多く大変ではあったけれど、とにかく全力で走ってきた。グループインした最初の1年にこのような賞を獲ることが出来たことにも意義を感じています。

Table with 3 columns: Rank, Name, Department/Company. Includes 2nd, 3rd, 4th, and 5th place winners.

FM部門 受注額 1位 木村翔太 / 中広メディアソリューションズ ARIFT仙台

時に心が折れそうになることもあったが、先輩方の指導のおかげで、10年目にして初めて、表彰を受けることが出来ました。来年もこの景色を見られるよう精進します。

Table with 3 columns: Rank, Name, Department/Company. Includes 2nd, 3rd, 4th, and 5th place winners.

お仕事Start!部門 1位 上本祥代 / 中広 関西・北陸BP課

お客様とのやりとりは「ドラマをいくつ紡ぐことが出来るのか」を心がけながら関係構築に励んでまいりました。そんな思いが実を結び、嬉しいです。

Table with 3 columns: Rank, Name, Department/Company. Includes 2nd, 3rd, 4th, and 5th place winners.

オール商材部門 1位 山本英太郎 / 中広メディアソリューションズ S事業部

オンライン・オフライン問わず、お客様のお役に立つために幅広い商材の中から提案を行うという仕事が本当に好きで、このような結果につながり光栄です。

Table with 3 columns: Rank, Name, Department/Company. Includes 2nd, 3rd, 4th, and 5th place winners.

FM部門 KGI達成率 1位 瓜田昌宏 / 中広 にいかわプラス編集室

中広人生30年となりましたが、時代は変わっても情報誌づくりにおいて、地域愛があるということは、どんな局面でも乗り越えることが出来るかと確信しました。

Table with 3 columns: Rank, Name, Department/Company. Includes 2nd, 3rd, 4th, and 5th place winners.

Company profile for Chuco Co., Ltd. including company overview, business content, vision, and contact information.

49th Basic Policy (第49期 基本方針) with slogan '50X' and theme 'AI Driven'.

Official website and social media accounts (Facebook, YouTube, Instagram, X) with QR codes.

CSR/CSV activities and social contribution initiatives, including support for next-generation education and women's empowerment.

Annual history table (沿革) from 1978 to 2025, detailing company milestones and achievements.

営業拠点 (Sales Points)

Detailed list of sales points across various regions including Chubu, Hokkaido, Tohoku, Kanto, Chugoku, Shikoku, and Kyushu.

※所属や肩書は2026年3月以前のもの